

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「世界一の安全・安心社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

ヒューメインなサービスインダストリーの創出

3. 研究開発課題名

半導体バイオセンサ技術によるヘルスマonitoringサービスの実現

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

坂田 利弥(東京大学 大学院工学系研究科 准教授)

5. 評価結果

半導体バイオセンサ技術により非侵襲で高感度のバイオマーカー計測を行い、新たな診断サービスの実現を目指した本研究開発は、社会にインパクトを与えることが期待されると高く評価され採択された。

探索期間の進捗については、素子の集積により高感度化を実証するなど、研究が着実に進展していることが報告された一方、社会実装に向けた出口戦略の検討や研究体制の構築が課題として残ることから、探索研究で終了という評価となった。

以上